



TITLE:

情報化社会を強く生きる <平成
27年度 大学図書館職員短期研修 グ
ループ討議報告書 第4班>(
presentation資料)

AUTHOR(S):

木瀬, 洋美; 石黒, 康太; 佐藤, 美穂; 井上, 直子; 川下,
愛子; 米田, 理紗; 野村, 明日香

CITATION:

木瀬, 洋美 ...[et al]. 情報化社会を強く生きる <平成27年度 大学図書館職
員短期研修 グループ討議報告書 第4班>. 2015

ISSUE DATE:

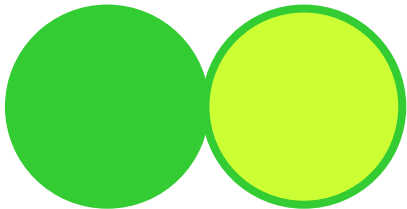
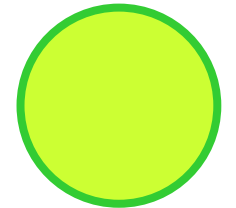
2015-10-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/200650>

RIGHT:

情報化社会を強く生きる



4班

これからの学術情報リテラシー教育実践を考える

目標

- 強く生きる！

対象

- 学部生

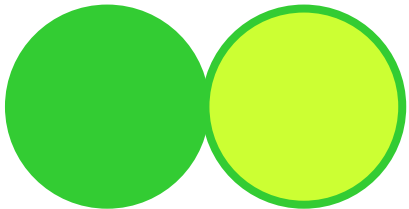
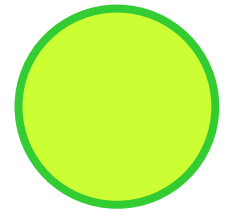
具体的な
方策

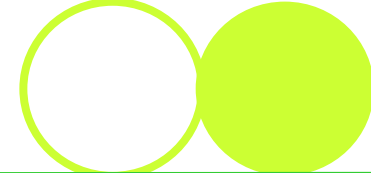
- 段階的な教育
- 効果測定

期待できる
効果

- 情報を活用して、強く生きる力が身につく！

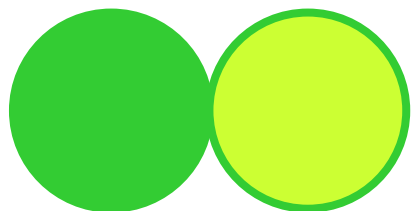
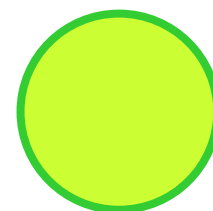
目標：強く生きる

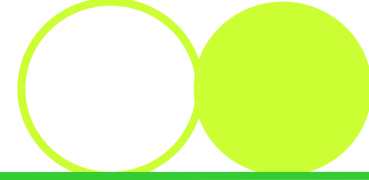




- 強く生きるとは：
環境の変化に対応できる
情報量の多さ-"空気"に流されない
自分の考えを伝えられる
- ⇒ **情報を自分で選択、考えて
自分の言葉で発信する**

対象：学部生





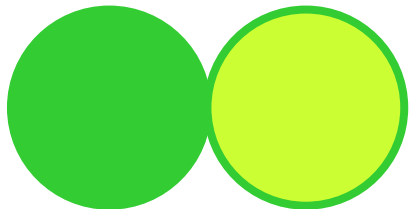
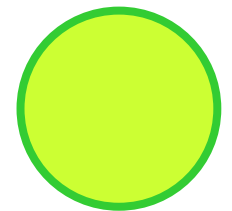
- 学部生！

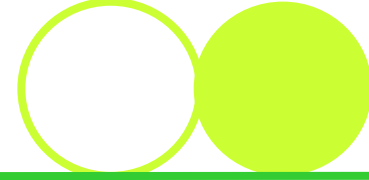
学び方の変化。答えのない学び。

知識を受け取る

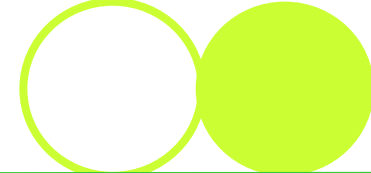
→自分で考えて発信する学び

4つの具体的な方策





- 連携
- 段階的な教育
- 図書館員のスキルアップ
- 効果測定



教員

学生

事務

他機関

説明は後ほど...



- 情報リテラシー基準の
明示と共有

- 1 回生

基礎科目となる授業に参加

【今まで】

初年次：基礎ゼミ，情報基礎，基礎演習，入門セミナー，情報リテラシー etc.

1回目

2回目

3回目

4回目

.....

図書館担当コマ

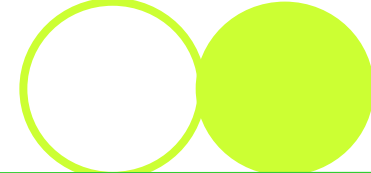
来週から普通授業だから～

今日楽しかったね～

(悲)

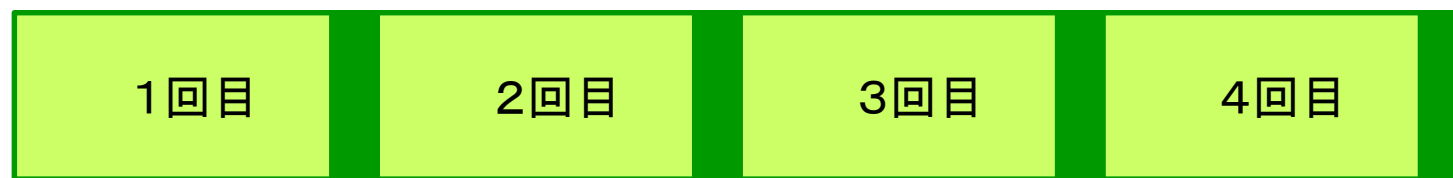
すぐ忘れられるんだろうな...

図書館員



【提案】

毎回の授業で15分ほど

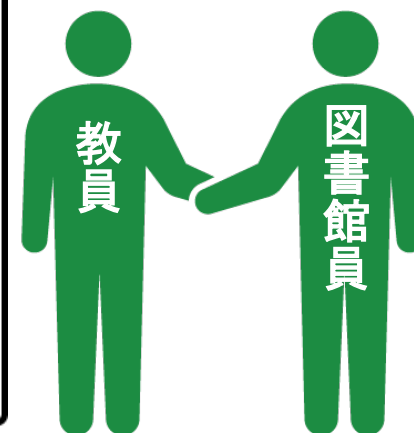


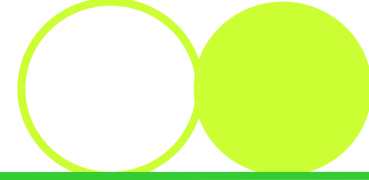
課題：〇〇に関する本を
読んできなさい

- ・検索ツール紹介
- ・クリティカル・リーディング

課題：レポートを書いて
きなさい

- ・関連図書を紹介
- ・ツール紹介
- ・講習会案内





- 2回生以上：
リテラシー能力のレベルアップ
研究室に入りこむ
講習会

- スキルアップとは：
専門知識？
発信するスキル

本当にできるの？





教員

学生

事務

他機関

約束をしません
か？！

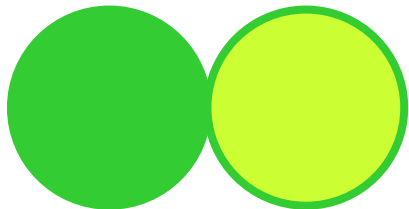
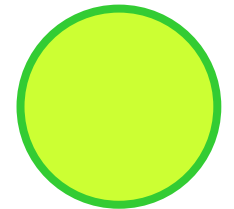


- 他機関との連携：教材の共有



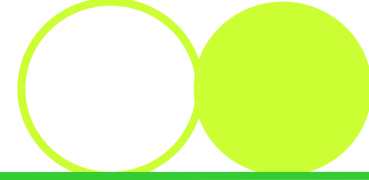
- 学生にアンケート
- 教員と成果物を共有
- 教員にヒアリング

3段階の期待できる効果





- 学生の実力アップ
- レベルの高い成果物
- 図書館を使う割合が増える

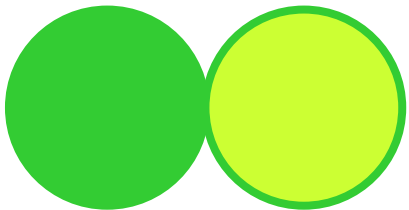
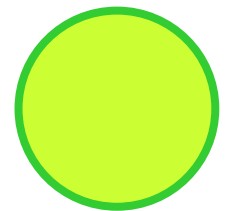


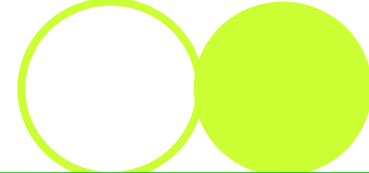
- 事前・事後学習がやりやすくなる
→ アクティブ・ラーニングにつながる



- 情報を活用して、
強く生きる力が身につく！

「未来」を考える





A.I.と共存する社会がきつつある・・・かも？

→仕事が奪われる・・・かも？

例)「マツコロイド」「Pepper」

時代が変わっても、

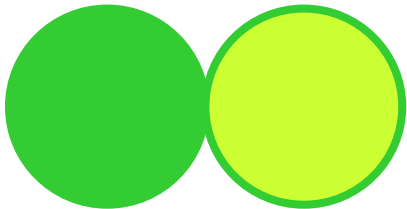
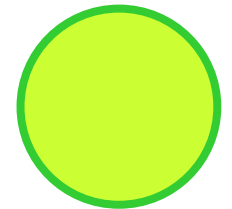
自分の「軸」をもつ必要性



出典: Softbank

<http://www.softbank.jp/robot/special/pepper/> (2015年10月9日アクセス)

ご清聴ありがとうございました



4班

これからの学術情報リテラシー教育実践を考える